

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	特異な1～2次元反応場を用いた未踏ナノ物質の創製と機能開拓
研究代表者	篠原 久典（名古屋大学・大学院理学研究科・教授） ※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>本研究は、カーボンナノチューブ内や2枚のグラフェン間のスペースを反応場として用い、新規なナノ物質を合成し機能を開拓することを目的とした研究であり、応募者のこれまでの実績、特に一次元、二次元のナノカーボンの制御的作成技術の優位性を生かした意欲的でレベルの高い研究であると考えられる。特許出願中との理由で明らかにされなかったナノ物質合成のキーとなる酸化的な鋳型除去技術の適用可能性にやや不安は残るが、その点も含めて基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>